

たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

[病院理念] 玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

地域医療研修で医師としての役割や課題を考える



水島協同病院の初期研修医である二神医師が3/25～5/2の期間、当院にて地域医療研修を行いましたので、ご紹介したいと思います。

【二神先生、自己紹介をお願いします！】

こんにちは、水島協同病院の初期研修医2年目の二神克士です。出身は倉敷市ですが、高校卒業後にすぐ神戸に移りました。その後も札幌、大阪と住居を変え、最終的に地元に戻ってきた形になります。地元倉敷で働くことを大変うれしく思っています。

【今回の研修にはどのような思いで参加されましたか？】

倉敷市にも様々な要因から通院による適切な医療を受けることができなかったり、福祉サービスにアクセスできていなかつたりする住民の方が少なからずいらっしゃることを知りました。玉島協同病院での研修を通じてこうした問題に対する理解を深め、生涯医師として一人ひとりに寄り添う医療を実践することができるようになればと考え今回の研修に取り組みました。

【実際に研修を終えられた感想をお願いします！】

この研修では、訪問診療を初めとして訪問看護への同行、通所リハビリテーションへの参加、各班会への参加など、病棟業務では味わうことのできない地域での医療を多く学ぶことができました。また同時に、実際に地域の方々や患者さんと関わっていく中で、地域での医師の役割や今後の課題などに思いを馳せる貴重な時間だったと感じています。

私自身、将来は地域の医療や福祉に携わっていきたいと考えており、今回の研修で得られた知見は必ず活きてくると確信しております。短い間ではございましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

二神先生、研修お疲れ様でした。先生の今後のご活躍、職員一同応援しております！



訪問診療先で清水順子医師と

第2回 玉協看護・介護連携の会を開催

2023年10月に続き、2024年3月21日に第2回玉協看護・介護連携の会を開催しました。

前回は学習会方式で行ったため、今回は練りに練って「入退院時の情報交換・内容」というテーマでおしゃべりの会を企画しました。

予想を大きく上回り32名の玉島・船穂地域の在宅関係者の方々が参加して下さり、病院からは連携／相談／支援室のスタッフに加え、病棟と外来にも参加協力を仰ぎ6名の看護師にも参加してもらいました。

冒頭での清水医師の挨拶によると、「顔の見える関係は今や当たり前のこと、これからはお互いに多少の無理が言い合える関係構築が必要だ！」とのことでした。

挨拶が終わるとさっそくグループに分かれ、別室へ移動後に意見交換を行い、最後に各グループで出た意見をグループ代表者が報告し、みんなで共有しました。

参加した皆さんからは終了後のお見送り時に、「楽しかった」「とても良かった」「次を楽しみにしている」と嬉しいお声を頂き、練りに練った“おしゃべりの会”は大盛況・大好評に終わりました。

こうした会を続けることにより、病院と介護事業所とが手を繋ぎ同じチームとして一丸となり、玉島地域で暮らす方々の生活を支えていく地域力向上の一つになればと思います。

(入退院支援室看護師長 村上 千鶴)



現場の看護師と情報共有ができる、とても有意義だった。無理の言える連携を拡げていきたい。



◆グループホーム「とんがりぼうし」

いろいろな施設の意見も聞けて良かった。

普段モヤモヤしていたことが伝えられて良かった。

◆介護付き有料老人ホーム「両備ヘルシーケア玉島」

地域のいろんな施設間での連携も大切だと感じた。



◆グループホーム／デイサービス「シーサイドリビング沙美」

意見交換の時間がとても楽しかった。

病院からの要望や意見が聞けて貴重な時間だった。



◆高齢者障害賃貸住宅「ラブネット玉島」

グループごとの意見交換だったので、話しやすかった。

顔を見ての話し合いが本当に久振りで良かった、次の機会が楽しみ。

◆富田居宅介護支援センター

それぞれの立場もあり、お互いに理解しあえる関係が大切。

病院の各部署の役割や取り組みなど、知らない部分が多いので知りたい。

◆病院看護師



とても貴重な意見を聞くことができた。

退院支援において在宅を見据えた生活、本人や介護者の負担を考えた支援を行わないといけない。

グループでの話し合いは意見が出しやすくて良かった。

退院時に渡す看護サマリーの情報が役立っているのか、生の声が聞けて良かった。

たくさんのご参加ありがとうございました!!



～今回は参加された方々の感想を一部紹介したいと思います～

◆看護小規模多機能ホーム「桃の風花」

グループ内にいろんな職種が居たのが更に良かった。

◆小規模多機能型居宅介護事業所「桃の花／桃の花サテライト」

看護師がいない施設では不安も多く、今後は相談や対応など気さくに聞けるようになると思う。

2023年度看護部で取り組んだ 「The民医連、これぞ民医連の取り組み」報告

（2病棟編）

前回、1病棟での「The民医連、これぞ民医連の取り組み」報告がありました。日常的看護・介護の実践を共有し継承していくという目標を立て、2病棟ではどのように振り返つていこうかと考えました。

そこで、4月に民医連について職員が思つてることの意見交換を行い、5～6月で目的や2病棟での取り組みについて説

明を行い、年間を通して動画学習や事例をもとにしたグループワークを行いました。グループワークでは、自分たちが実践している看護や介護を看護のものさしに当てはめて振り返ってみました。

これからも患者さんに

寄り添つてあきらめない看護を継続していきたいと思います。

（2病棟看護師長
松崎 かおり）



富田グループ交換研修会報告② 地域での生活を支える介護施設

看護サービスだと改めて感じました。ケアマネージャー

2023年12月25日より3日間にわたり富田グループ桃の鈴花（共生型看護小規模多機能ホーム）との交換研修へ参加させて頂きました。

この研修では「地域の様々な職種と連携し、医療・介護ニーズに柔軟に対応できる人材の育成」「地域の介護事業所との顔が見える連携」の2つの目的に対し、「介護施設・介護サービスの役割・機能を理解し情報共有の在り方を考えることがで

情報共有が円滑に行われるよう、在宅型有料老人ホーム内どのような環境で生活されているのかを知る」という自身の課題をあげました。

研修では生活環境や介護サービスを学ぶことができ、今まで自分は知っているつもりで、正しく理解できていなかつたことに気づきました。そして、実際にサービスを利用しながら地域で生活されている利用者さんを訪れていたとき、「在宅と外来問の生活を支えているのは介

（外来看護師
井上 麻紀）

前回、「在宅と外来問の機能を理解し情報共有の在り方を考えることがで

そこで、職員が思つてることの意見交換を行い、5～6月で目的や2病棟での取り組みについて説

明を行い、年間を通して動画学習や事例をもとにしたグループワークを行いました。グループワークでは、自分たちが実践している看護や介護を看護のものさしに当てはめて振り返つてみました。

これからも患者さんに

寄り添つてあきらめない看護を継続していきたいと思います。

（2病棟看護師長
松崎 かおり）

後世に伝えていくべき歴史を学ぶ

3月15、16日に中四地協社保平和活動交流集会が山口県徳山市で開催されました。今回特に印象的だったのは回天記念館や基地訓練跡等のフィールドワークです。

回天とは太平洋戦争の末期、日本軍の厳しい戦局を挽回するために誕生した人間魚雷のことで、“天を回らし、戦局を逆転される”という願いを込めて「回天」と名付けられました。魚雷に大量の爆薬を搭載し、人が操縦して敵艦に体当たりをするという兵器で、一度出撃すると生きては帰って来ることはできません。

全国から17歳～20代の若者が集まり、訓練基地で毎日厳しい訓練を積み、祖国や大切な家族、友人等を守るために出撃をしていったそうです。祖国を守るために未来ある若い搭乗員が命を懸けて出撃していった、その時の心情は想像しても想像付かないですが、訓練跡地や穏やかな海を見ながら、改めて戦争の悲惨さや平和について考えさせられました。

搭乗員の思いを次世代に引き継いでいくこと、平和への努力を続けることが今の時代を生きる私たちの使命だと感じました。

（社保平和委員会 西村みゆき）



人間魚雷「回天」のレプリカ

看護部の制服が変わりました！

令和6年4月1日から
看護師と介護士の制服を一新しました。
心機一軒、業務に励みたいと思います！

玉島協同病院は無低診事業を行っています。お気軽にご相談下さい。

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません／カルテを開示しています